

2025年度 一般財団法人全日本大学バレーボール連盟
第2回全日本理事会 議事録

1. 日時：2025年8月20日（水）18：00～

2. 会場：Zoom リモート会議

3. 出席者： 監事 塩山 剛司、白神 泰介
会長 積山 和明
副会長 遠藤 俊郎、山本 章雄
理事長 小野瀬 聡
副理事長 池上 寿伸、嶋貫 勝、高野 和弘、宮内 一三
理事 足立 学、和泉 浩基、氏原 隆、梅北 将大、大西真紀子
小川 宏、加治 健男、木下 健、櫻井 貴志、澤 達大
澤井 亨、田中 博史、千葉 智之、中西 康己、永谷 稔
根本 研、春間 好実、松井 泰二、三浦 累美、光山 秀行
宮下 伸一、山本 清和、米沢 利広
学生理事 影山 夕記、白藤優之、心、須山 紗那、馬場愛弥乃、林 賢佑
宮田 幹大、門間 稀那、吉岡 幸峻、和田 優生
陪席者 青木あめり、岡庭 美海、高橋 日葵、中野 伶美、山口 万尋
石川 佳奈、笹尾 月渚、佐藤かれん、関口 珠季、高橋 佳良
高橋 茉愛、手塚 真結、中山 羽澄、鎗 天翔生、青木 尋
太田 琴梨、風間 維、行徳あんな、田淵 美里、深井 優
丸山 未彩、村上 真彩、山中 晴賀、小野里 茜、今野 羽菜
高畑 実来、坪井 奏歩、森野真優人

文責者 栗山 瑞希

- ・理事48名 出席者39 委任6名（過半数を超えたため理事会成立）
- ・議長により、本議事録の署名人として大西理事が指名された。

4. 議長：小野瀬 聡

5. 議題：① 各種決済書（案）について
② 全日本ビーチについて
③ 全日本インカレについて
④ その他

6. 議事内容

① 各種決済書（案）について

- ・2025年度全日本大学バレーボール指導者講習会決算書（案）について説明があり、承認された。
- ・2025年度（一財）全日本大学バレーボール連盟（案）について説明があり、承認された。

② 全日本ビーチについて

- ・アクティオ杯ビーチバレージャパカンレッジ2025JVA 第37回全日本ビーチバレーボール大学選手権大会の最終結果について説明があった。
- ・男女の優勝したペアにはJVA 第39回ビーチバレーボール選手権大会男子、JVA 第36回ビーチバレーボール選手権大会女子、ジャパカンビーチバレーボールツアー2025への出場権を得たとの説明があった。
- ・今大会の反省として、代表者会議およびコート開放など時間設定を大会の直前に変更し出場ペアに混乱を招く結果となったため、スケジュールの確定を早めることを次年度以降の課題として提案された
- ・第2回戦と準々決勝が連続試合となり、40分休憩を挟んだため全試合の終了時間が遅れたとの説明があり、翌年度は組み合わせを工夫し、連続試合を回避するとの提案があった。

- ・上記の3点を9月の関東および日本ビーチバレーボール委員会の反省会にて議題として提案し、次年度の改善につなげることを確認した。

③ 全日本インカレについて

- ・2025年度全日本インカレコート割について説明があった。
- ・2つのトーナメント案の共通点として、男女で会場を分けているとの説明があった。
- ・昨年度と相違点として準決勝から特設コートで試合を行うとの説明があった。
- ・それに伴い、土曜日、日曜日の試合順が女子が先、男子が後となっており、土曜日の第4試合の大学が日曜日の第1試合目になることを避けるなど選手の負担を最小限するとの説明があった。
- ・1つ目のトーナメント案では、エスフォルタアリーナ八王子を男女会場として使用し、大田区総合体育館、国立代々木競技場第一体育館を女子会場、所沢市民体育館を男子会場となっており、2つ目のトーナメント案は、会場割り当ての男女が逆になっているとの説明があった。
- ・昨年度の大会では、都心から離れた体育館を女子会場としており、移動や宿泊等に費用がかかったため、男女平等の観点から本年度は男子会場を所沢市民体育館とすべきとの意見があった。
- ・男子バレーボールの人气が高まってきていることから、観客動員のしやすさを考慮して大田区総合体育館や国立代々木競技場第一体育館を男子会場にしたいという意見もあった。
- ・土曜日、日曜日の試合は例年では試合間を1時間空けていたが、今回はサブコートでアップを行えるようにするため、試合開始を9時30分とし、試合間を30分とするとの説明があった。
- ・インタビュー等はコート外で行っていただくという説明があった。
- ・JVAから前年度の全日本インカレの剰余金として約500万円をいただいたとの報告があった。
- ・大田区総合体育館、国立代々木競技場第一体育館を男子会場、所沢市民体育館を女子会場に決定した。
- ・ミキブルーンスーパーカレッジバレー2025開催要項(案)について説明があった。
- ・個人賞に昨年度との変更点としてサブレシーブ賞を追加するとの報告があった。
- ・個人賞の受賞者について、準決勝以降からJVIMSの数値を出し、ベスト4のチームから選出するとの報告があった。
- ・試合開始時間を試合数によって変更するとの説明があった。
- ・大会3日目について、2試合のコートもあるが、縦3試合のコートと同じように進行するとの説明があった。
- ・大会4日目について、2試合のため試合開始時間を11時開始とし、それ以降の試合はフロア解放から60分後に開始するとの説明があった。
- ・11月3日(月)抽選会を行い、女子抽選会を14時、男子抽選会を15時開始予定との説明があった。
- ・第78回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会、第71回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学選手権大会出場地区学連数についての説明があった。
- ・東日本インカレ、西日本インカレのベスト8チームに出場権を与え、残りの48枠をJVAMRS及び一般財団法人全日本大学バレーボール連盟に正規に登録されているチーム数によって割り当て数を決定したとの説明があった。
- ・シード枠について前年度の結果を参考に第1シードから第16シードまでのシード枠を決定したとの説明があった。
- ・申込要領についての説明があった。
- ・大会エントリー申込期間が9月29日(月)から10月22日(水)17時までとなっているとの説明があった。
- ・2025年全日本インカレ予算書についての説明があった。
- ・抽選方法についてJVA競技要項の抽選方法の原則に従い実施するとの説明があった。
- ・抽選を実施するにあたり、各地区学連を分散させることや同一学連同士の1回戦での対戦を避けることを配慮し抽選するとの説明があった。

④ その他

- ・登録料についてJVAから個人登録費を上げるとの説明があり、チーム登録費は1万円、個人登録費について例年では合計1800円であったが、合計2000円になるとの説明があった。
- ・バレーボールに対しての最近の情報を組織で交換するために日本バレーボール学会と締結をするとの告があった。
- ・ホテルをとる際に学生等が安く泊まれるように工夫するとの説明があった。

